

YOKOROU

No.27

JANUARY
2022

横浜労災病院 地域医療連携広報誌



CONTENTS

循環器センターの紹介

【トピック】

- 開院30周年を迎えて

横浜労災病院 | 地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院 <https://www.yokohamah.johas.go.jp>

横浜労災病院の理念 — みんなでやさしい明るい医療 —

地域密着型の循環器センターを目指して ～すべての循環器疾患に迅速に対応します～

循環器センター センター長／循環器内科 部長 柚本 和彦

循環器センター長の柚本和彦（ゆもと かずひこ）です。横浜労災病院循環器センターの紹介をさせていただきます。

循環器センターのポリシー

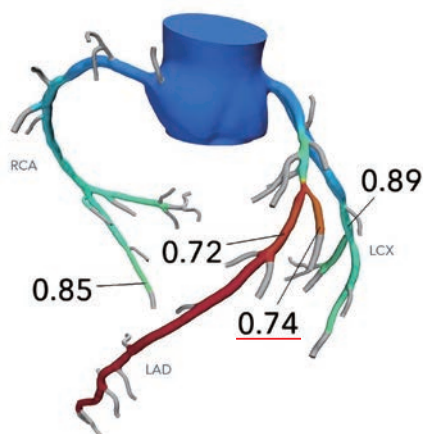
開院当初は5名からスタートした循環器内科も現在は16名の大所帯になりました。循環器疾患の治療には高度専門化された手技・医療機器が必要となります。循環器センターでは心臓血管外科を含め各領域にエキスパートの責任者を配置し高度な先進医療を提供しています。急増している高齢の心不全患者は虚血、不整脈、弁膜症、高血圧など複数の循環器疾患が併存していることが多いため、各部門の連携を強固にして、退院後の心臓リハビリまで含めすべての循環器疾患を包括的にカバーすることを心がけています。

コロナ禍での循環器診療

当院はコロナ診療の中核病院のため、一時的に循環器救急病棟は重症コロナ肺炎患者専用病棟となりました。現在はコロナ患者の激減に加え院内PCR検査の迅速化や個室重症病床の増床で従来の診療体制を維持しています。

トピックス

1) 虚血性心疾患：非侵襲的な狭心症の診断FFRCT解析検査（図1）



労作性狭心症の診断治療が変わってきました。狭心症の患者さんは心カテを行い冠動脈に狭窄を認めるとステント治療を行うことが定石でしたが、最新のガイドラインでは冠動脈狭窄に対してステント治療が必要か見直されるようになってきました。冠動脈CTで評価後に更に心カテや負荷心筋シンチなどを行い心筋虚血の証明を行なっていましたが、この度導入されたFFRCT検査は冠動脈CTの画像データをもとにコンピュータ解析を行い、従来は心カテでしか検査できなかった冠血流の定量的な評価を非侵襲的に外来で測定が可能になりました。FFRCT検査は施設基準が設けられており、実施施設が限定されています。

（図1）FFRCT値が0.75以下の場合は治療適応の狭窄病変と判断します。

2) 不整脈診断：心原性失神の重要性（埋め込み型心電図記録計）（図2）

失神というと脳血管疾患のイメージが強いですが、実は心原性および神経調節性失神が大半を占めます。不整脈を原因とする心原性失神は24時間ホルター心電図では異常が同定できないことが多く診断に苦慮します。皮下に埋め込む超小型の心電図記録計が導入され心原性失神や発作性心房細動の診断能が向上しました。留置には局所麻酔で1cm程度の皮膚切開をするのみですので、外来で埋め込み可能です。埋め込み後は常時不整脈が記録され異常が発生すると当院にアラートが来る仕組みです。実際、数ヵ月に1回原因不明の失神をおこしていた患者さんが埋め込み心電計で7秒間の洞停止が同定されペースメーカー埋め込み術を行い失神は消失しました。リモートによる長期間の不整脈モニタリングを行うことで正確な診断が可能となりました（図）。



（図2）埋め込み型心電計

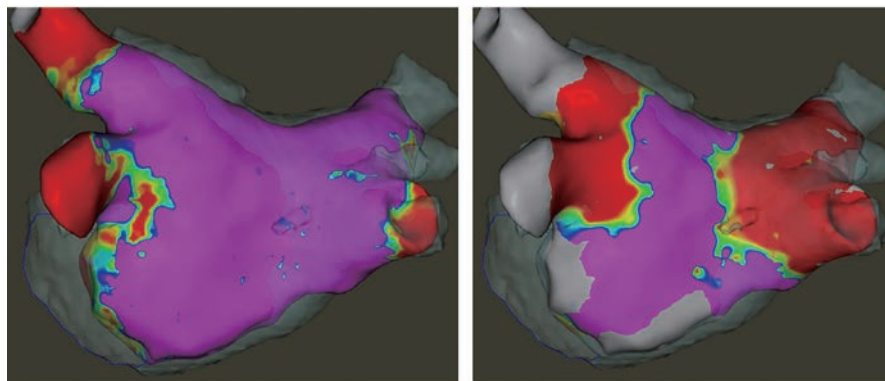
3) 不整脈治療：3Dマッピングシステムでより安全なカテーテルアブレーション（図3）

現在、ほぼすべての頻脈性不整脈に対してカテーテルアブレーションが可能となっています。アブレーション治療の際に3D（3次元）マッピングシステムを利用することにより、不整脈の電気の流れを可視化しカテーテルの位置情報を正確に把握することができます。それにより正確な焼灼部位、効果が確認され、合併症が著しく減少し治療成績も安定しました。また近年増加している心房細動のカテーテルアブレーションも積極的に施行しており、発作性心房細動にはクライオ（冷凍）バルーンを用いて手技時間を短縮しています。高齢者の心房細動患者さんが増加しています。抗凝固療法やカテーテルアブレーションの適応など悩ましい点が多いですが、患者さん個々に最善の治療法を選択しますので、ご遠慮なくご相談ください。

アブレーション前後の左房後壁電位

肺静脈隔離前

肺静脈隔離後



紫は正常電位、赤は無電位を示しています。肺静脈が拡大隔離されています。

クライオバルーンアブレーションの手技

①診断カテーテルを肺静脈に留置し、バルーンを拡張



②肺静脈をバルーンで閉塞し、冷凍アブレーションを実施



スタッフリスト

氏名	卒年	役職	専門
柚 本 和 彦	S62	循環器センター長 循環器内科部長	虚血性心疾患、心不全
青 木 元	H9	冠疾患集中治療部長	虚血性心疾患、カテーテル治療
小和瀬 晋 弥	H13	不整脈科部長	不整脈（ペースメーカー、再同期療法）
長 田 淳	H10	不整脈治療科部長	不整脈（アブレーション）、心エコー
田 中 真 吾	H18	副部長	虚血性心疾患、下肢動脈疾患
福 澤 朋 幸	H19	副部長	虚血性心疾患、下肢動脈疾患
大 津 和 也	H25	医師	虚血性心疾患、循環器救急
浅 野 駿 逸	H27	医師	不整脈、心不全
堀 米 旭	H29	医師	循環器救急
竹 内 幹 人	H30	医師	循環器全般
西 堂 寛 和	H31	医師	循環器全般
沖 殿 祐 太 朗	H31	医師	循環器全般
藤 村 公 一 郎	H31	医師	循環器全般
真 鍋 雄 二	H31	医師	循環器全般
久 松 菜 未 子	H31	医師	循環器全般

開院30周年を迎えて

当院は1991年に横浜市北東部医療圏の地域中核病院として、また全国に32ある労災病院群のリーディングホスピタルとして開院いたしました。開院以来、当院の理念である「みんなでやさしい明るい医療」を実現すべく、職員一体となって、最高水準の医療体制の構築・維持・発展に努めてまいりました。今後も大きく急激に変化していく時代にあわせて、次の世代のために当院も対応してまいりますので、引き続きご支援とご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(病院長 三上 容司)

写真で振り返る20年～30年の出来事



平成23年11月12日
20周年記念祝賀会



平成23年11月12日
20周年記念祝賀会



平成24年7月2日
新羽中学職場体験



平成24年11月8日
ヘリコプター搬送患者受入訓練



平成24年11月22日
保育園児病院訪問



平成24年12月20日
病棟サンタ訪問イベント



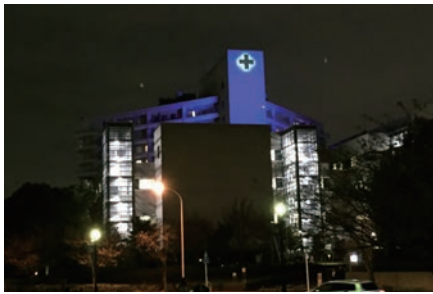
平成25年3月12日
ひなまつりコンサート



平成25年5月15日
看護の日コンサート



平成26年1月21日
新型インフルエンザ対策訓練



平成27年11月13日
世界糖尿病デー ブルーライトアップ



平成28年10月22日
新横浜パフォーマンス



平成28年12月16日
保育園クリスマス会



平成30年11月8日
日産フィールド小机における航空支援隊訓練



令和元年9月7日
広域災害対策訓練



令和2年5月4日
新型コロナ病床棟激励



令和2年5月4日
新型コロナ手作りフェイスマスク



令和2年12月14日
患者サポートセンター開所式



令和3年2月18日
新型コロナワクチン対応



令和3年3月19日
災害用救急車



横浜労災病院 登録医専用電話



医療機関からの
ご予約は



045-474-8362

受付時間

8 : 15



19 : 00

平日：月～金

※土・日・祝祭日及び年末年始を除く



患者さんが予約する場合



予約センターまで

TEL:045-474-8882

平日(月～金) 8:15～17:00

※土・日・祝祭日及び年末年始を除く